

平成29年2月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート 平成29年2月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださるようお願いいたします。

ただ今、八戸では、冬の恒例『八戸ブイヤベースフェスタ 2017』が開催されています。八戸産の魚介類をふんだんに使った、17人の腕利きのシェフ自慢のブイヤベースを提供しています。

期間中、八戸へお越しの際には、あたたかいブイヤベースをお楽しみください。

◎『八戸ブイヤベースフェスタ』

- ・期間 平成29年2月1日(水)～3月31日(金)
- ・会場 市内ホテル・レストラン 計17店舗

※詳細はこちらをご覧ください

<http://www.hhrp.jp/hbb/>

◎『八戸えんぶり』

- ・期間 平成29年2月17日(金)～20日(月)

※詳細はこちらをご覧ください

<https://hachinohe-kanko.com/10stories/hachinohe-enburi>

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせください
ますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973/FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 2月号 レポート

平成29年1月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
1	八戸市 中核市へ移行
2	八戸消防本部 高度救助隊発足
3	今村復興相が就任後初の来県 多賀多目的運動場など視察
4	八戸保健所 健康相談のニーズ高く
5	八戸中心街「(仮称)三日町にぎわい拠点(マチニワ)」整備概要公表
6	馬淵川の洪水浸水想定区域見直し 八戸の浸水域2.3倍に
7	八戸ブックセンター利用者調査 「今後も来たい」9割超

【産業】

記事	概要
8	ベトナムで「ジャパン青森フードフェア」開催

【地域】

記事	概要
9	八戸水産科学館マリエントに2人目の女性ダイバー誕生
10	「八戸こたつ屋形船」運航開始 ～くつろぎながら港の冬景色堪能～
11	八戸森林組合 倒木を馬で運ぶ「馬搬」導入
12	八戸屋台村 接客ロボットデビュー
13	全国どんぶり選手権 俵屋の「八戸銀サバトロづけ丼」が連覇!
14	「八戸高等支援学校」開校へ 新たな支援学校の開校は23年ぶり
15	「なろうぜ!バスドライバー」 バス運転手確保へ運転体験や見学会開催
16	八戸ブイヤベースフェスタ開幕
17	八戸港フェリー埠頭の停泊所増設 2隻同時着岸で利便性向上へ
18	南極観測60周年記念し講演 「すごい南極みつけた！」

【文化・スポーツ】

記事	概要
19	「八戸工場大学」がライトアップイベント ～工場の煙“虹色”に～
20	八戸の旧スケート場「類家堤」再現へ
21	小中学生向けにアイスホッケー教室開催 NHLコーチが技術指導

記事	概要
(1)	<p>八戸市 中核市へ移行</p> <p>八戸市は1月1日、中核市として新たなスタートを切った。全国で48番目、青森県内では青森市に次いで2番目。県から移譲される保健・衛生、福祉などの権限を生かし、より住民に身近な行政サービスを提供することで、市民福祉の向上や自立的なまちづくりを目指す。仕事始めの4日午前、八戸市公会堂で「中核市移行式」を開いた。小林眞市長が「八戸新時代を切り拓き、八戸を『北東北の雄』と呼べるまちに進化させるため全力を尽くす」と決意を表明。集まった約500人が八戸市の新たな門出を祝った。移行式の後には八戸市が圏域のけん引役としての役割を明示する「連携中枢都市宣言」も行った。</p>
(2)	<p>八戸消防本部 高度救助隊発足</p> <p>八戸市の中核市移行に伴い、八戸消防本部内に新設された高度救助隊の発足式が6日、同本部で行われた。高度救助隊は、震災などの大規模災害や重大事故の人命救助に対応できる専門部隊で、中核市に設置が義務付けられている。八戸消防署はこれまで編成していた特別救助隊を拡充して発足させ、約2億円を投じ最新の救助工作車と資機材を導入した。隊の愛称は「八戸スーパーレスキュー（H・S・R）」。隊員15人が大規模災害時などで人命救助に全力を挙げる決意を新たに示した。</p>
(3)	<p>今村復興相が就任後初の来県 多賀多目的運動場など視察</p> <p>今村雅弘復興相が1月17日、東日本大震災の復興状況視察のため、就任後初めて来県し、津波避難施設にもなる八戸市市川町の多賀多目的運動場などを訪れた。今村復興相は視察後、「産業やなりわいの再生にピッチを上げて取り組みたい」と述べ、引き続き復興支援に力を入れる考えを示した。</p>
(4)	<p>八戸保健所 健康相談のニーズ高く</p> <p>中核市移行に伴う保健所の設置で、八戸市は医師らに対応する健康についての相談業務を拡充した。1月4日の本格的な業務開始から、予約枠がいっぱいになった項目もあり、市民のニーズの高さがうかがえる。担当する市健康づくり推進課長は「病院に行くべきか迷っている人が、市保健所の相談業務を利用することで、病気の早期発見や受診につながるかもしれない。市民の身近な相談の場所として定着するようにしたい」と話している。</p>
(5)	<p>八戸中心街「(仮称) 三日町にぎわい拠点(マチニワ)」整備概要公表</p> <p>八戸市は、三日町に計画しているにぎわい拠点「マチニワ」の整備概要を明らかにした。「緑・水・光」など自然の要素を取り入れた全天候型多目的広場として整備。施設は間口約25メートル、奥行き約30メートル、高さ約15メートルの2階建て。屋根部分を含め全面ガラス張りとし、光を取り入れ、緑を配した開放的な空間とする。シンボルとなる「水の樹」は、時刻を知らせる「水時計」と「水飲み場」からなり、大きさは高さ約8メートル、幅約5メートル、その床面には、水面の波紋をイメージした直径14メートルの「水のマンダラ」を描く予定。2017年度に着工、2018年度早々のオープンを目指す。</p>
(6)	<p>馬淵川の洪水浸水想定区域見直し 八戸の浸水域2.3倍に</p> <p>国土交通省青森河川国道事務所は、馬淵川の洪水浸水想定区域を見直し、公表した。降雨量を従来の基準から想定できる最大規模に引き上げた結果、総面積は八戸市内の24.59平方キロメートルで、従前の約2.3倍に拡大した。新たに洪水によって家屋の倒壊などが想定される区域を示した「家屋倒壊等氾濫想定区域」も設定。市は、今後、両区域などを基に新たな洪水ハザードマップの作製に取り組む。</p>

(7)	<p>八戸ブックセンター利用者調査 「今後も来たい」9割超</p> <p>昨年12月にオープンした八戸ブックセンターについて、市が実施したアンケートによると、本の選定は「非常に良い」と「良い」が大半を占め、自由記述では「普段出会わない本が多くて良い」「テーマに沿った選書が面白い」と、民間書店との差別化を図った点を評価する意見が寄せられた。今後も来館したいか、との質問では「ぜひ来たい」「機会があれば」との回答が9割を超えた。</p>
-----	--

【産業】

記事	概要
(8)	<p>ベトナムで「ジャパン青森フードフェア」開催</p> <p>青森県産品の販売促進を目指す「ジャパン青森フードフェア」が1月18～22日までベトナムのイオンモール・ロンビエン店で開催された。八戸のほか青森、弘前、東北、おいらせ、新郷の6市町村とみちのく銀行の主催で、昨年ホーチミン市に続き2度目。オープニングセレモニーには小林眞市長らが参加し「青森の美味しいものをたくさん買ってほしい」とPR。高い経済成長を背景に市民の購買力が向上するベトナムで、農林水産物を中心に売り込みを図った。</p>

【地域】

記事	概要
(9)	<p>八戸水産科学館マリントに2人目の女性ダイバー誕生</p> <p>八戸市水産科学館マリントの岩澤美咲さん(21)が、同科学館で2人目となる女性ダイバーとしてデビューした。岩澤さんは八戸聖ウルスラ学院を卒業後、盛岡市内の専門学校に進学。在学中にマリントでのインターンシップ(就学体験)に参加した。2016年春に社員となった後は、岩手県の種市高校に通って潜水に関する知識や技術を学び、7月に潜水土の資格を取得した。イメージカラーのオレンジ色の潜水スーツに身を包み、水槽内を泳ぐ魚へ餌付けしながら、訪れる人たちに海の生き物の魅力を伝えている。</p>
(10)	<p>「八戸こたつ屋形船」運航開始 ～くつろぎながら港の冬景色堪能～</p> <p>海の八戸NPOによる「八戸こたつ屋形船」の運航が1月5日に始まった。八戸の冬季観光を盛り上げようと企画し、2010年10月に試運転を実施した。東日本大震災で船が流され立ち消えとなっていたが、昨年“復活”を遂げ、本格的に運航を始めた。初日は事前に募集した市民16人と報道関係者を招待し、魅力をPRした。乗客は海から見る冬の八戸港を、こたつに入ってくつろぎながら楽しんだ。運航は1日2回。昼の部は正午から1時間2千円、夜の部は午後6時から1時間半3千円。小学生以下は半額、3歳未満は無料。</p>
(11)	<p>八戸森林組合 倒木を馬で運ぶ「馬搬」導入</p> <p>種差海岸で、木材を馬で運ぶ「馬搬(ばはん)」が始まった。全国的に林業の機械化が進んで見られなくなっていた作業方法で、八戸地域でも約20年前に途絶えていた。昨年8月の台風10号の被害で倒木したクロマツの撤去を兼ねた取り組みで、実施主体の八戸市森林組合は環境への負荷が少なく、馬文化を見直すきっかけになる一として、将来的な導入も視野に検討を進めている。</p>
(12)	<p>八戸屋台村 接客ロボットデビュー</p> <p>八戸市中心街の八戸屋台村「みろく横丁」で、小型接客ロボットがデビューした。訪日外国人観光客対策や、人手不足などサービス業の課題解決につなげる狙いで、全国に先駆けたプロジェクトとして2月末まで試験導入される。ロボットは、店に備え付けられたスマートフォンを通じて、来店客からメニューの注文などを受ける。写真撮影や翻訳、会計の受け付け、液晶画面での商品PRなどもできる。</p>

(13)	<p>全国どんぶり選手権 俵屋の「八戸銀サバトロづけ丼」が連覇！</p> <p>全国のご当地グルメや郷土芸能などが一堂に会する「ふるさと祭り東京2017」が1月7～15日まで東京ドームで開催された。その中で丼メニューの頂点を競う「全国ご当地どんぶり選手権」で、日本の味俵屋（八戸市）が出品した「八戸銀サバトロづけ丼」が2年連続となるグランプリを獲得。殿堂入りの丼「殿丼（でんどん）」の称号を得た。八戸銀サバトロづけ丼は、八戸市内の「俵屋」と「サバの駅」で味わうことができる。</p>
(14)	<p>「八戸高等支援学校」開校へ 新たな支援学校の開校は23年ぶり</p> <p>知的障がいのある生徒を対象にした「八戸高等支援学校」が2017年4月、八戸市鮫町の旧八戸南高校校舎を活用して開校する。県内で新たに特別支援学校が開校するのは23年ぶり。同市松館の八戸第二養護学校から、高等部が分離移転する。産業科を新たに設け、実習室を整備し、生徒の就労に向けた支援を拡充。地域に開かれた学校を目指し、地元企業や保護者の期待を受けながら、開校準備が進んでいる。</p>
(15)	<p>「なろうぜ！バスマイヤー」 バスマイヤー確保へ運転体験や見学会開催</p> <p>不足しているバスマイヤーを確保しようと、八戸市地域公共交通会議などは「なろうぜ！バスマイヤー」と題したイベントを展開する。関係者によると、バスマイヤー不足は全国的な傾向。高齢化で退職者が増える一方、なり手は免許取得者の減少などで不足し、路線縮小や過度な労働負担などが問題になっている。1月29日の路線バスマイヤー体験会を皮切りに、3月にかけてバス会社の合同仕事説明会、営業所見学会などを開催する。</p>
(16)	<p>八戸ブイヤベースフェスタ開幕</p> <p>「八戸ブイヤベースフェスタ2017」が2月1日に開幕した。八戸ハマリレーションプロジェクトの主催で、今年で6回目。八戸ブイヤベースは八戸産の魚介類を4種類以上使うのが決まりで、店ごとに内容が異なり、各シェフが持ち味を生かして調理するのが特徴。3月31日までの2カ月間、市内などの洋食店17店舗で、八戸港に揚がった旬の魚介類をブイヤベースで味わえる。</p>
(17)	<p>八戸港フェリー埠頭の停泊所増設 2隻同時着岸で利便性向上へ</p> <p>八戸ー苫小牧間のフェリーが定期運航する八戸港フェリー埠頭で、船の停泊場所（バース）を1カ所増設する「2バース化」の工事が進んでいる。これまでは、八戸を午前8時45分に出発する「シルバープリンセス」が第1バースに停泊している間、同7時半に到着する「シルバークイーン」は近接する公共岸壁を使用し、プリンセスの出港後に第1バースまで移動させていた。2バース化により、全長150メートル級フェリーが2隻同時に着岸できるのが最大の利点となる。本格的な供用開始は今年4月の予定。</p>
(18)	<p>南極観測60周年記念し講演 「すごい南極みつけた！」</p> <p>日本の南極観測60周年を記念した南極教室「すごい南極みつけた！」（南極OB会青森支部主催）が1月29日、八戸市児童科学館で開かれた。1957年1月29日、日本南極地域観測隊第1次隊は南極のオングル島に上陸し、昭和基地と命名。今回の南極教室は、それからちょうど60周年の節目に開かれた。日本南極地域観測隊OBの3人が、これまでの歴史や気象、植物などをテーマに講演。参加した子どもたちは3人の話に熱心に耳を傾けた。また、南極の氷が解けて空気のはじける音を聞いたり、南極で使用された防寒服を試着するなどして楽しんだ。</p>

記事	概要
(19)	<p>「八戸工場大学」がライトアップイベント ～工場の煙“虹色”に～</p> <p>八戸市は14日、沼館緑地公園で、工場の煙を5色の光でライトアップするアートイベント「虹色の狼煙（のろし）」を開催した。工場を地域資源と捉え、魅力を発信する市のアートプロジェクト「八戸工場大学」の一環。工場の外壁には、工場地帯の歴史や製品の仕組み、“友達”という周辺の工場の紹介や水蒸気でできた煙などについて、一人称で語るメッセージが投影された。訪れた市民らが幻想的な光の風景を楽しみながら、工場への関心を高めていた。</p>
(20)	<p>八戸の旧スケート場「類家堤」再現へ</p> <p>八戸市にかつて存在し、冬場に凍りスケート場として市民に親しまれたという類家堤（勘太郎堤）を、数十分の1サイズで再現する企画が1月から、同市の旧柏崎小学校で行われている。類家堤は旧柏崎小周辺に存在し、八戸初のスケート大会が開かれた場所とされる。八戸ポータルミュージアム「はっち」のスケートをテーマにしたアートプロジェクトの一環で、市民に氷都・八戸の起源を思い起こしてもらおうと、準備が進んでいる。</p>
(21)	<p>小中学生向けにアイスホッケー教室開催 NHLコーチが技術指導</p> <p>八戸市のテクニカルアイスパーク八戸で、1月25、26の両日、北米のプロアイスホッケーリーグ・NHLでコーチを務めるフランソワ・ランドビルさん(48)を招いた教室が開かれた。25日はまず、選手の保護者、地元のチームのコーチらを対象にランドビルさんが講演。子どもたちに接する際にプレッシャーをかけ過ぎないこと、自立を促すことの重要性を説いた。続いて、子どもたちを対象に、氷上でスケーティングの基礎を自らが実演しながら指導。うまくプレーした子どもと一緒に喜び合ったりしながら、和やかなひとときを過ごした。</p>

ふるさと寄附金のご案内

「ふるさと寄附金」とは、市内外を問わず、「八戸を応援したい」という方々から広くご寄附をいただく制度です。これまで納めてもらっていた税を「ふるさと寄附金」に振り替えていただくことで、直接、寄附者の意向を八戸のまちづくりに反映することが可能となります。

- ◆ 寄附金の使いみちをお選びいただき、「震災復興基金」「奨学ゆめ基金」などの基金積立や、教育・福祉・環境などの各種事業に充てることができます。
- ◆ 寄附をされた金額のうち2,000円を超える分について、一定限度まで住民税の税額控除がつけられます。
- ◆ 法人・団体からの寄附も受付しています。法人の場合、地方公共団体に対する寄附金は全額が損金算入できます。

10,000円以上30,000円未満・・・特産品A1品
30,000円以上50,000円未満・・・特産品B1品 または 特産品A2品
50,000円以上100,000円未満・・・特産品C1品 または 特産品A・B各1品
100,000円以上…………… 特産品D1品 または 特産品C2品 または 特産品A・B・C各1品
詳しくは <http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/02203> をご覧ください。

お申込み方法

ホームページ

⇒ 八戸市ホームページ (<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>) から、「ふるさと寄附金申込フォーム」に必要事項を入力して送信してください。

郵送

⇒ 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項を記入して、八戸市住民税課へ郵送してください。「ふるさと寄附金申込書」は郵送でお届けしますので、八戸市住民税課までご連絡ください。ホームページからもダウンロードできます。

< 宛先 > 〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号 八戸市 住民税課 ふるさと寄附金担当
TEL : 0178-43-9232 (直通)
Email : jumin@city.hachinohe.aomori.jp

寄附者のご紹介

平成28年12月に寄附された方々のお名前を次ページにご紹介いたします。
ご協力ありがとうございました。

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお立ち寄りください。

八戸市東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階
TEL : 03-3261-8973
FAX : 03-3239-6723
Email : tokyo@city.hachinohe.aomori.jp
所長 鈴木伸尚 主幹 古町有加 囑託 籠利京子



Bouillabaisse

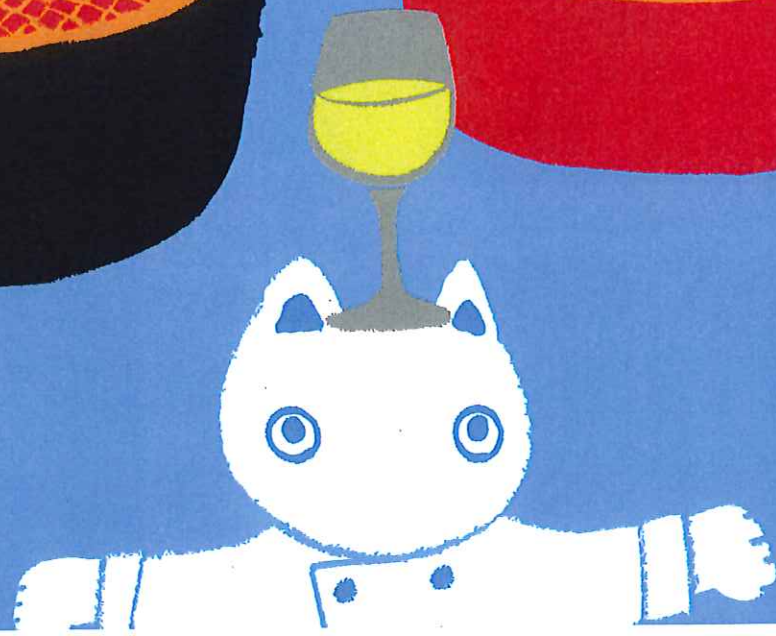
ハルビヤベースフェスタTM
2017.2.1 WED - 3.31 FRI





Hachinohe

ハチノヘビヤベースフェスタTM
2017.2.1 WED - 3.31 FRI



八戸ブイヤベースフェスタ

2017.2.1 WED - 3.31 FRI

www.hhrp.jp

今年も、八戸の旬の魚介をたっぷり使って、17人の腕利きのシェフが自慢のブイヤベースを完成させました。みんなちがって、みんないい!

6年目の最高傑作が勢揃い。心も体も温まる。八戸の冬は、あったかいブイヤベースの季節です。

※価格はすべて税込です。



八戸ブイヤベース、

2つのルール

rule 1 八戸産の魚介類を
ふんだんに使用!



地元八戸港に水揚げされる魚介類を最低4種類以上使います。野菜(ハーブ類・にんにく・トマト等)も地元産のものを出来るだけ使います。

rule 2 八戸流は
二度おいしい!!



まずはスープ料理として具材(魚介類)をそのまま楽しめます。その後、スープを活かした各店ごとに異なる、オリジナルの“締めの一皿”を楽しみます。魚介類もスープも「一皿で二度おいしい」のが八戸ブイヤベースの楽しみ方です。

ビストロ ポ・デタン 平ガニとエビの旨味たっぷり。

スープのコクと香りで
勝負します。

ランチ 2,160円

前菜、ブイヤベース、コーヒー

ディナー 3,780円

前菜、パスタ、ブイヤベース
デザート、コーヒー

☎0178・22・3383

八戸市番町2

☐営業時間: 11:30-13:45 (LO)
18:00-22:00 (LO)

☐定休日: 日曜日



カジュアルフレンチ (ノース フォーティー・フォーティー) North 40-40

ランチ 2,200円

サラダ、ポタージョ、ブイヤベース、コーヒー

ディナー 3,200円

アミューズ、前菜、ポタージョ
ブイヤベース、デザート、コーヒー

☎0176・58・7091

三沢市桜町2丁目7-14

☐営業時間: 11:30-14:00 (LO)
17:30-21:00 (LO)

☐定休日: 水曜日

ブイヤベーススープに
魚のだし汁を加えた
Wスープで魚介の旨味たっぷり。

New!



グランドサンピア八戸

魚介のだしに、しじみや昆布の
和のテイストも加えた
ほっとするやさしい味わい。

ランチ & ディナー 2,970円

前菜、ブイヤベース
サラダ、デザート、コーヒー

☎0178・23・5151

八戸市東白山台1丁目1-1

☐営業時間: 11:30-14:00 (LO)
17:30-20:30 (LO)

☐定休日: なし



八戸グランドホテル

ラウンジレストラン サヴァロツ

白身魚のブイオンを
トマトとサフランで仕上げた
40年以上続く伝統の味。

ランチ 2,500円

サラダ、ブイヤベース、コーヒー

ディナー 3,200円

前菜、サラダ、ブイヤベース
デザート、コーヒー

☎0178・46・1234

八戸市番町14

☐営業時間: 11:30-14:00 (LO)
17:30-20:00 (LO)

☐定休日: なし



ル・ムロン・デ・オワゾ

魚介の旨みを搾りきった
渾身のスープと
カリッと焼いた魚のハーモニー。

ランチ & ディナー 3,700円

アミューズ、前菜2皿、ブイヤベース
デザート、コーヒー

※ブイヤベースコースは要予約

☎0178・51・8727

八戸市東白山台3丁目1-1

☐営業時間: 12:00-14:00 (LO)
18:00-21:00 (LO)

☐定休日: 日曜日



カーサ・デル・チーボ

シチリアの港町で愛される
伝統的な一皿。八戸産の
魚介をクスクスとともに。

ランチ & ディナー 3,500円

前菜、パスタ、ブイヤベース
デザート、コーヒー

☎0178・20・9646

八戸市湊高台1丁目19-6

☐営業時間: 11:30-13:30 (LO)
18:00-20:30 (LO)

☐定休日: 日曜日、毎月第2月曜日



Bistrot くんのこ

ブイヤベース名人
白鳥シェフの新作は、北国の冬に
ぴったりの白いブイヤベース。

ランチ 972円

サラダ、フチブイヤベース
フチデザート、コーヒー

ディナー 3,780円

前菜、ブイヤベース、デザート、コーヒー

☎0194・59・3881

久慈市小久慈町19-156-134

☐営業時間: 11:00-14:30 (LO)
17:30-20:00 (LO)

☐定休日: 第3水曜日



New!

レストランテ澤内

ランチ 2,500円
 アミューズ、前菜、パスタ、フイヤーベース
 デザート、コーヒー

ディナー 3,500円
 アミューズ、前菜、リゾット、フイヤーベース
 デザート、コーヒー

☎0178・22・7638
 八戸市南類家1丁目12-10
 □営業時間: 11:30-13:30 (LO)
 17:30-21:30 (LO)
 □定休日: 日曜日 ※日曜団体貸切は予約可

魚介とスープをより堪能して
 いただけるリゾット(パスタ)
 +フイヤーベースの新スタイルで。



農風Kitchen Yui

ランチ 2,000円
 サラダ、フイヤーベース、デザート、コーヒー

ディナー 2,800円
 前菜、フイヤーベース、デザート、コーヒー

※フイヤーベースコースは要予約

☎0178・44・3035
 八戸市番町25 グレイス番町1F
 □営業時間: 11:00-14:30 (LO)
 17:00-22:00 (LO)
 □定休日: 日曜日、第3月曜日

魚介はすべて八戸産。スープと
 魚の火入れにこだわって、
 更に進化します。



八戸パークホテル レストラン アゼリア

ランチ & **ディナー** 3,200円
 前菜、フイヤーベース、デザート、コーヒー

☎0178・43・1111
 八戸市吹上1丁目15-90
 □営業時間: 11:00-14:00 (LO)
 17:00-20:30 (LO)
 □定休日: なし

モクズ蟹からだしをとった
 パークホテル自慢の
 定番フイヤーベース。



八戸シーガルビューホテル 花と月の渚 レストラン しおさい

ランチ 2,500円
 アミューズ、サラダ、フイヤーベース
 デザート、コーヒー

ディナー 3,500円
 アミューズ、前菜、スープ、フイヤーベース
 デザート、コーヒー

※フイヤーベースコースは月曜休

☎0178・33・3636
 八戸市鮫町小舟渡平9-19
 □営業時間: 11:30-14:00 (LO)
 17:30-20:00 (LO)
 □定休日: なし

地元でとれるカニや魚を
 花と月の渚 レストラン しおさい
 まるごと使ったスープは
 コク深いダイナミックな旨さ。



ボワラ

ランチ 2,160円
 前菜2皿、フイヤーベース、コーヒー

ディナー 3,800円
 アミューズ、前菜、フイヤーベース(ラクレット付)
 デザート、コーヒー

※ランチコースは、ラクレットはつきません

☎0178・80・7558
 八戸市湊高台3丁目1-9
 □営業時間: 12:00-13:30 (LO)
 18:00-21:00 (LO)
 ※コース注文は20:00まで
 □定休日: 日曜日 ※月曜日は夜のみ営業

シンプルに魚介の旨みを
 いかしたスープをスイス名物
 ラクレットチーズとともに。



巴里の空の下で

ランチ & **ディナー** 4,320円
 アミューズ、前菜、フイヤーベース
 デザート、コーヒー

※フイヤーベースコースは要予約

☎0178・71・3818
 八戸市馬場町1-14
 □営業時間: 11:30-14:00 (LO)
 18:00-20:00 (LO)
 □定休日: 月曜日 ※日曜日は昼のみ営業、
 都合により営業日に変更になる場合があります

煮過ぎず、上品な
 マルセイユ風に、八戸魚介の
 おいしさをいかします。



パール・サウーチ

単品 一鍋(2人前) 3,500円

☎0178・38・9019
 八戸市内丸1丁目1-5
 □営業時間: 17:30-23:00 (LO)
 (日) 17:30-22:00 (LO)
 □定休日: 月曜日 ※月に一度、日・月連休

おなじみのカタプラーナ。
 今年はマデイラワイン風味の
 エスニックな仕上がり。



ビストロ Sukegawa

ディナー 4,100円
 前菜、フイヤーベース、デザート、コーヒー

※フイヤーベースコースは要予約
 ランチタイムは応相談

☎0178・45・0557
 八戸市三日町30-1 AXISビル1F
 □営業時間: 12:00-13:30 (LO)
 18:00-21:00 (LO)
 □定休日: 月曜日 ※火曜日は夜のみ営業

パイ包みは今年も健在。
 蓋を開けた瞬間の
 溢れる香りがごちそうです。



食彩工房 ラ・ファミーユ

ランチ & **ディナー** 3,456円
 前菜、フイヤーベース、デザート、コーヒー

※フイヤーベースコースは要予約

☎0178・32・7090
 八戸市妙字大開83-5
 □営業時間: 11:30-14:00 (LO)
 17:00-19:30 (LO)
 □定休日: 木曜日

熟練シェフが
 長年丁寧に作り続けてきた
 あっさりやさしい一皿が初登場。



八戸プラザホテル レストラン ジュノー

ランチ 2,200円
 前菜、フイヤーベース、コーヒー

ディナー 3,200円
 前菜、フイヤーベース、デザート、コーヒー

☎0178・44・3121
 八戸市柏崎1丁目6-6
 □営業時間: 11:30-14:00 (LO)
 17:00-20:00 (LO)
 □定休日: なし

旬の魚介に自家農園の
 フレッシュハーブとトマトを
 加えたスープを熱々で。



杵

八戸えんぶり

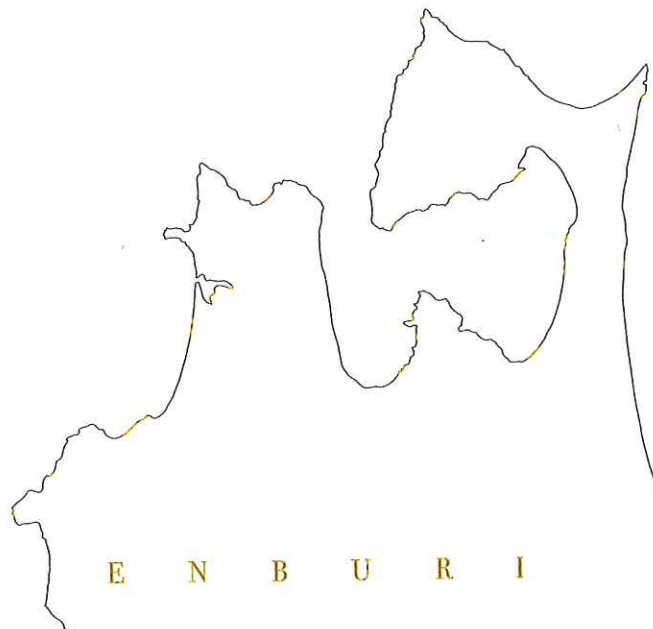
青森冬の三大まつり

みちのく五大雪まつり



平成25年八戸えんぶり写真コンテスト特選八戸市長賞(北城廣威氏)

国重要無形民俗文化財



青森県八戸市

H A C H I N O H E E N B U R I

杵

八戸えんぶり



えんぶり烏帽子



中心街で庄巻の一斉摺り

初日朝、新羅神社での奉納摺りを終えた各組は、中心街へ「えんぶり行列」となつて行進します。中心街に集結した三十数組が二斉に摺る「一斉摺り」は、数あるえんぶり行事の中でも庄巻の一幕です。

極彩色あふれる えんぶり烏帽子

太夫が被る「烏帽子」は、馬の頭を表しているといわれ、芸術性の高い各組伝統の絵柄は、えんぶりの象徴となっています。タテガミにあたる部分は「田の神様のより代」といわれ、五色の色紙が厚く貼りならべられています。



勇壮華麗、 太夫の摺り

えんぶりの象徴ともいえる烏帽子を被った「太夫」の舞を「摺り」といいます。稲作の一連の流れを表し、頭を大きく振る独特の舞には、かつて何度も凶作に見舞われた当地の農民たちの豊作への切実な想いが込められています。



ジャンギ

カンダイ



中の摺り

「金のなる木」ともいわれる小唄に合せ、輪に銭がついた銭太鼓を両手に持って回しながら踊る。

大黒舞・えびす舞

打ち出の小槌や扇を持ち、おめでたい口上や唄に合わせて舞う。

摺りおさめ

稲刈りを終え、儀を蔵に積むまでを表す。宝物を手に入れ「諸国の宝を摺りよせた」と唄い、収穫のお祝いと豊作祈願をする。

畦留め

田から水が流れないように「ねずみ穴」からも、ケラ虫穴からも水は通さんように「ほり」こと止めて申したりやいと唄を終わる。

手にする「ジャンギ」と呼ばれる棒はその象徴とされる。

えんぶり組は、烏帽子を被った3人ないし5人の太夫が中心となり、親方、囃子手、舞手など20〜30名で構成されている。えんぶりには、古くからの型で、唄や仕ぐさがゆつたりとした「ながえんぶり」と、新しい型で、勇壮活発な「どうさいえんぶり」の2種類がある。

明治期には百組以上の組が八戸に集まったと言われているが、現在でも八戸地域を中心に30数組が活動を続けており、各町内の大人たちから次代を担う子どもたちへ芸の伝承が続けられるなど、今なお地域コミュニティが息づいている。



えんぶり口上（抜粋）

や、いんと申したりやい
えんぶり摺りの藤九郎が
まいりてそつろつ
前田千刈、後千刈、中千刈
さてもよい代かな

お正月のお祝いに

松の葉をば、手に持つて
お祝いなさるものかな

これは、どなたの穂田だ
右五門ど、左五門の穂田だ
一本植えれば、千本になる
これこそ早稲の種かな

売市えんぶり組資料引用

初日早朝、幕開けは新羅神社。



毎年2月17日の朝、えんぶり組は競って長者山新羅神社に集合します。ここで配られる番号札は、えんぶり行列の順番でもあるため、前日から徹夜で並ぶ組もあるほど。午前7時から境内にて「奉納摺り」が行われ、その後、中心街での「斉摺り」に向け「えんぶり行列」が発発します。



めでたい、愛らしい、祝福の舞

「エンコエンコ」、「松の舞」、「大黒舞」、「えびす舞」などを「祝福芸」といいます。愛らしい子どもたちが主役となり、縁起の良いリズムカルなお囃子にのって披露される舞は、かわいくも優雅な仕ぐさで観客に人気です。



横笛

「ザイ」と呼ばれる指揮棒を持った音頭とりの合図で、田の神様への呼び掛けの唄、お囃子、摺りが一斉に始まります。主に、横笛、大小の締め太鼓、手平鉦の楽器で構成され、演目ごとに異なる多彩なお囃子がえんぶりの特長です。



締め太鼓

手平鉦



ザイ

お庭えんぶり

えんぶりは、かつて「だんな様」と呼ばれる有力商家などの土間や座敷で披露されることもありました。「お庭えんぶり」はこうした昔の風情を復活させたもので、国の登録有形文化財の「更上閣」庭園で贅沢なひとときを味わえる人気の行事です。

凍てついた土を踏みしめ
烏帽子が寒空を舞う
八戸の厳しい冬が育んだ
春を呼ぶまつり



えんぶり 演目内容
 (組により区切りや内容が異なります)
摺りこみ
 えんぶりを始める口上を、太夫のリーダーである藤九郎が述べながら入場する導入部。
摺りはじめ
 年の初めの祝い歌に始まり、苗代に種を蒔き、馬に田を耕させる田植え準備を表す。
松の舞・喜び舞
 人も馬も疲れたのでひと休み。休憩中どぶろくを飲んだ男がご機嫌になり、松の小枝を手にかざし

えんぶりとは
 えんぶりは、年の初めに豊年満作を祈る民俗芸能で、国の重要無形民俗文化財に指定されている。八百年前、甲斐の国(現在の山梨県)からこの地にやってきた南部光行の家来たちによってはじめられた、など諸説唱えられている。
 全国に「田遊び」「田植踊り」といった民俗芸能が残されているが、えんぶりもその一種といわれ、その名称は田んぼの土をならす



エンコエンコ

大黒舞



えびす舞

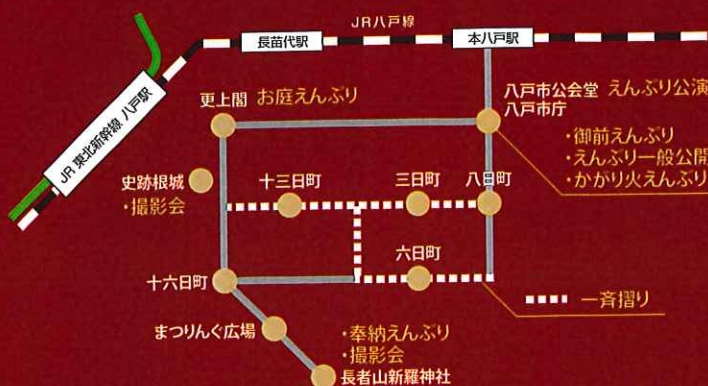


「お庭えんぶり」更上閣庭園にて掲げられた旗

八戸えんぶり行事スケジュール



えんぶり行事各会場へのアクセス



八戸までの主な交通アクセス

鉄道(JR東北新幹線)

東京～八戸(最短2時間56分)
 仙台～八戸(約1時間30分)
 JRびゅう予約センター TEL 0120-489-791

飛行機

東京～三沢(約1時間20分)
 大阪(伊丹)～三沢(約1時間40分)
 札幌～三沢(約1時間)
 函館～三沢(約30分)
 ・三沢空港～八戸市内シャトルバス(50分)
 三沢空港ターミナル 予約・問合せ TEL 0570-025-071
 札幌・函館線のみ 予約センター TEL 0570-006-007

フェリー

八戸～苫小牧(8時間)
 川崎近海汽船 TEL 0178-28-2018
 フリーダイヤル 0120-539-468

高速バス

八戸～東京(シリュウ号:9時間5分)
 シリュウ号は国際興業バス/十和田観光バス合同です。
 国際興業バス 予約センター TEL 0570-048-985
 十和田観光バス 八戸予約センター TEL 0178-43-4521
 八戸～盛岡(特急八盛号:2時間20分)
 八戸～仙台(うみねこ号:4時間10分)
 南部バス 予約センター TEL 0178-24-1121
 八戸(青森始発)～東京(えんぶり号:9時間10分)
 弘南バス 予約センター TEL 0172-37-0022
 フリーダイヤル 0120-923-489



《奉納祭り》

■日時/2月17日 7:00～
 ■場所/長者山新羅神社

午前7時から「奉納祭り」の後、境内では観覧者・撮影者用に2組のえんぶり組が祭りを披露します。

《えんぶり行列》

■日時/2月17日 10:00～
 ■場所/長者山新羅神社～八戸市中心街

全えんぶり組が新羅神社から中心街を目指し、賑々しく行進します。

《一斉祭り》

■日時/2月17日 10:40～11:20
 ■場所/八戸市中心街

全えんぶり組が中心街で一斉に祭りを披露します。えんぶり行事の中でも、最も迫力溢れる場面が観られる行事です。

《御前えんぶり》

■日時/2月17日 12:15～
 ■場所/八戸市庁前市民広場

もともとは殿様の御所で踊る当番のえんぶりでしたが、現在は毎年1組が市長の前で祭りを披露します。

《えんぶり公演》

■日時/2月17日・18日 13:00～16:00
 ■場所/八戸市公会堂 ■観覧料:有料

八戸市公会堂で行われる行事。迫力の祭りや愛らしい祝福舞など、えんぶりの魅力を余すところなくじっくり鑑賞できます。

《かがり火えんぶり》

■日時/2月17日～20日
 18:00～、19:00～、20:00～ ※18日は18:00～と19:30～の2回のみ
 ■場所/八戸市庁前広場

従来のえんぶりは昼型の行事でしたが、観覧者に夜も楽しんでもらうと、会場いっぱいにかがり火が灯され、昼とはちがった幻想的な雰囲気の中で行われます。

《史跡 根城えんぶり撮影会》

■日時/2月18日・19日 11:00～
 ■場所/史跡根城の広場(八戸市博物館隣接)

■入場料(大人250円)
 国史跡根城での撮影会はカメラマンに人気です。

《えんぶり一般公開》

■日時/2月19日・20日 13:00～、14:00～
 ■場所/八戸市庁前市民広場

市庁前特設会場でも勇壮な祭りや愛らしい祝福芸が披露される2日間。

《お庭えんぶり》

■日時/2月17日～20日
 16:00～、18:00～、20:00～

■場所/更上閣 ■観覧料:有料(1回120人程度)
 国の登録有形文化財「更上閣」を舞台に、かつてえんぶりが豪商の屋敷で行われていたという当時の風情を再現した行事。せんべい汁などの郷土料理も振舞われ、情緒溢れる演出が人気を呼んでいる。

※上記行事の日時は諸事情により変更になる場合があります。

えんぶりととともに味わう八戸の郷土料理

そばかけ



薄くのばしたそばを三角形に切り、豆腐、野菜などの具材と一緒に昆布だてでゆがいたものをネギ味噌かニンニク味噌で食べます。八戸地方の伝統的な冬の郷土料理のひとつで、香ばしい味噌とそばの相性が抜群。素朴な味わいで体の芯から温まります。

八戸せんべい汁



鶏肉等が出汁をとった鍋に旬の野菜や豆腐と一緒に、鍋専用の南部せんべいを具として入れた八戸地方独特の家庭料理。「お庭えんぶり」でも振舞われ、パスタのアルデンテに似たせんべいの食感が魅力。農林水産省「農山漁村の郷土料理百選」に選ばれた逸品。

＜八戸市観光課＞